

春めいて…



3学期のスタートとともに咲き始めた校舎裏のヒカンザクラ、満開になるとリュウキュウメジロやヒヨドリ、シジュウカラなどが集い、盛んに蜜を吸っていました。その見頃が終わると、塩田さんが丹精込めて育てている花々がほころび、奄美は一気に春めいてきたようです。

ところで、節となる時やことがらを「節目」といいます。新しい年がスタートして2か月が経ちました。いよいよ年度末、登校日も20日足らずとなります。つぎの学年や中学校への進級・進学という節目を迎えるための心構えを整える大切な時期です。子どもたちには、これまでの自分・今日の自分、そして、4月からの自分、それぞれの自分の姿をはっきりとイメージしてほしいと願っています。「人が成長する」とは、過去・現在・未来の自分を意識できるようになるということです。心身のしなやかさとたくましさを備えるということです。そうすれば、生きていく中で出会うさまざまな人やできごとに柔軟な対応ができたり、失敗もするけれど立ち直ったりすることも早いと思います。

各学級では、学習や生活のまとめをしています。6年生は卒業制作を始めています。「終わりよければすべてよし」。この時期だからこそ、浮つくことなく、しっかりと地に足を付けて、進級・進学を迎えてほしいです。

あっぱれ！円小ナイン



2年ぶりに入場制限なしで実施した学習発表会、予想を上回る多くの方のご来場があり、運動会終了後からこつこつ準備や練習を積み重ねた成果をご参観いただきました。1年生は1年生なりの、6年生は6年生なりの、これまでの学習を活かした見応えのある内容でした。参観後には「感動して涙がでた」「子どもたちのがんばりに元気をもらった」等の声がありました。昨年は保護者のみの参観でしたので、どこか物足りなさがありましたが、今年は会場の皆さんの大きな声援や拍手に、子どもたちはこの上ない達成感や充実感を感じたことでしょう。

3月の行事予定

日	曜	行 事 名 等
3	金	校内なわとび大会 全校PTA
10	金	お別れ遠足 第3回学校評議員会
11	土	第7回子ども博物学士講座・閉講式
23	木	第71回卒業式
24	金	修了式
25	土	集落PTA合同送別会

第9回たつごうエッセイコンテスト優秀賞

かくし味

6年 姫野 千葵

今までで心に残っているお弁当は3つある。1つ目は、保育園生の時に作ってもらったアナと雪の女王の「オラフ」のキャラ弁だ。チーズと海苔で作った目がちょうどいいバランスで本物みたいだった。母が前の日から仕込んで、私のリクエストにこたえてくれた愛情のこもったキャラ弁は今でも忘れられない。

2つ目は、3年生の春の1日遠足の時に、母と一緒に作ったお弁当だ。その時、初めて包丁を使った。ハートの形にするために出来たての卵焼きを切るのが少し難しかった。朝早く起きて、一生懸命心を込めて作ったお弁当は、とても美味しかった。

3つ目は、6年生になってすぐの春の1日遠足のお弁当だ。遠足のしおりを見て、母に日程を伝えた。すると、「え、その日お母さんは鹿児島に行くからいないよ」と言われた。びっくりした。私のお弁当どうするの？と思った瞬間、私が口にした言葉は「あ、そうだ。お母さんが作ってくれたら私がつめるよ」だった。「なんでよ。お父さんが作るよ」そばで私たちの会話を聞いていた父が笑いながら言った。そっか。お父さんが作ってくれるのか。私は安心した。よく考えたら、父もよく料理を作ってくれる。特にカレーは、大きな鍋にたくさん作って、忙しい時にすぐ食べられるように保存してくれている。

遠足の2日前に「お弁当に何入れたいわけ？」と父に聞かれた。食べたい具材をリクエストした。

当日の朝、目が覚めると私の好きな香りが家中に広がっていた。テーブルには私たち小学生3人分と保育園生の弟の分まで、4つ弁当が並べられたいた。私の頼んだミートボールとグラタンもちゃんと入っていた。父の愛情をたくさん感じた。姫野家の美味しいお弁当。そのかくし味は、愛情だ。

4つ並んだお弁当、温かい家族の情景が浮かぶすてきな作文です。お父さんの手作りお弁当に愛情を感じる千葵さんは幸せです。